

議 会 報 告

【東海村議会日本共産党】

〒319-1192 東海村東海3-7-1

電話 029-282-1711



大名美恵子 議員 3期

議会運営委員会
建設経済環境委員会
原子力問題調査特別委員会



川崎 篤子 議員 1期

文教厚生委員会
ひたちなか地区問題調査特別委員会
自治基本条例調査特別委員会



2009年度東海村子算案示される

3月議会開会

介護保険・後期高齢者医療保険助成に一般会計を投入、子どもの医療費は、中学校卒業まで無料化が盛り込まれる

昨年度比
総計で2・1%増

開 会	2日
代表・一般質問	10~13日
予算委員会	16・17・18日
閉 会	25日

県内で初めて

保険料減額のために 一般会計からの繰り入れ(案)

—東海村介護保険—

介護保険制度は、08年度に見直しが行われ、この4月から新しい介護保険事業計画、保険料で運営されます。

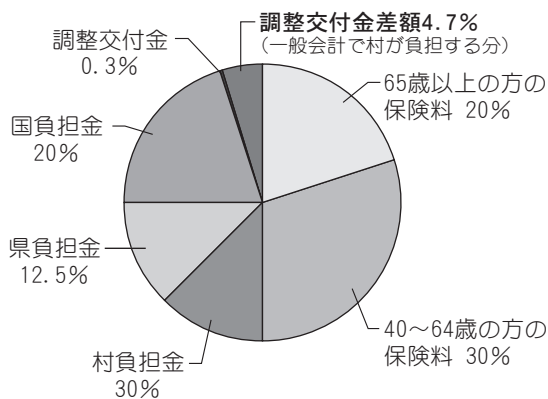
現行の村介護保険の主な特徴は、保険料が、65歳以上の第4段階で月3980円、県内第2位の高さであること、また、住宅サービス利用率が、県内第1位で、他市町村との比較では、活発な利用状況が伺えることなどです。

サービス利用が活発な背景として村は、「制度がよく理解されていること、また村独自に利用料への助成をおこなっていること」などあげています。

これらに加えて本村は、全国比で65歳以上の高齢化率がやや低い、高齢者の所得がやや高いなどから、制度の財源の一部である国の調整交付金が満額入り

ませんでした。特にこの4月からは、本来5%のところ、0・3%の見込みとのこと。この財源不足分は、制度のしくみでは被保険者が納める保険料に上乗せされることになっており大変問題があります。

一般会計を繰り入れた場合の負担割合



村案は

210円引き上げて 月4190円

日本共産党村議団は、制度発足当初から、「制度そのものに矛盾がある。住民負担軽減策として、一般会計からの繰り入れをおこなうよう」求めてきました。

この間見直しをすすめてきた村は、「現状では、新年度からの65歳以上の第3段階保険料は、1180円引き上げて5160円になる」と判断、住民負担が大きくなるため、保険料の引き上げ率をおさえる検討を行った結果、一般会計からの繰り入れを決断しました。

繰入額案は8181万7千円で、保険料案は210円引き上げの4190円です。これは、あと2000万円の財源があれば、引き上げはしなすむという金額です。

現在、約4千万円ある介護給付費準備基金の半額を使えば、

引き上げをしないで済みます。村議団は、1月末、村上村長に「村民のくらしは、増税をはじめ、さまざまな負担増に伴い深刻になっている。介護保険料は一般会計からの繰り入れをおこない、一切の引き上げはおこなわないよう」、申し入れしました。引き続き基金の活用で引き上げしないよう求めてまいります。



後期高齢者医療制度

保険料への助成を

村独自で実施の方向

- 全ての軽減該当者
 - ・保険料の半額助成
- 全ての非軽減該当者
 - ・一律15,000円助成

昨年4月からスタートした後期高齢者医療制度は、75歳以上の全員から保険料を徴収する過酷な制度です。制度の「撤廃」を求める多くの国民の声をうけて、国は保険料の軽減措置を設けたものの、低所得者への配慮は十分ではありません。

全ての人が、75歳になったら医療保険は後期高齢者医療保険へと、別枠に囲いこみ差別をす

る、世界に類をみない悪制度です。

日本共産党村議団は、一貫して、「村は廃止を国に求めるよう」ただしてきました。

同時に、国民の批判をはねのけて国が制度を強行するもどは、村民負担を軽減するため、村独自に保険料の軽減を図るよう求めてきました。

保険料の独自減免については、日本共産党の高橋千鶴子衆議院議員が、昨年10月の厚生労働委員会「独自減免は妨げられるものではない」ことを確認しています。

本村では、国保から後期高齢者医療保険に移行したほとんどの方の保険料が、負担増になっていることから、今回の保険料助成事業を実施する考えにいたったと説明しています。

助成限度額を、15,000円と定め、規定の保険料を納めた後、国が行っている段階的軽減措置(9割、7割、5割、2割)該当者全てに、保険料の半額を、非該当者全てに一律15,000円を助成するというものです。引き続き、力を尽くします。



4月から、村内の子どもの医療費を、中学校卒業まで無料にする予算案が示されました。

子どもの医療費を無料にするとりくみが本格化したのは、2001年3月議会に「6歳児以下の医療費の無料化を実現する会」が請願を

してきたことから始まりまし
た。

当時の日本共産党議員団が紹介を受け、文教厚生委員会で約7ヶ月間審査されまし

た。その結果、委員会では採択となりましたが、このとき、議会としては、村内全ての子どもの医療費を無料化することが望ましいと判断し、「所得制限をなくして無料化すること」を付け加えて採択しました。



中学卒業までの医療費を無料に

〈2009年度から実施案〉

…2001年3月の議会請願から8年目…

2001年12月議会の本会議に報告された請願の委員会審査結果は、本会議採決で、全会一致で採択となりました。

しかし、村長は、「年齢を一度に就学前まで引き上げるだけでも大変なのに、所得制限をはずすことまではできない」と、

再議（3分の2議決）に付しました。再度採決がおこなわれたときに、村長の意思に従った議員が多くなり、「所得制限をなくしたほうが良い」という議員数が、3分の2を超えなかったため、「所得制限つきで、就学前までの子どもの医療費

を無料化することが議決とされました。

この後、共産党議員団は、子どもの医療費無料化について、他の議員とも一緒に「所得制限をなくすべき」「年齢を小学卒業まで、義務教育終了まで引き上げるべき」と、くり返し求めてきました。

そして村は、所得制限の撤廃、小学校卒業まで、そして今回の中学校卒業までと年齢の引き上げをおこなってきました。

「子育ても老後も安心できるまちづくり」、これこそがその他多くの村民にとってもすみよいまちづくりにつながるのではないのでしょうか。引きつづき力をつくします。



後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙が行われました

3月2日の議事日程、

最後は広域連合議員の選挙

選挙の方法 単記無記名投票
選挙の結果

大名美恵子議員 3票
豊島 寛一議員(副議長) 17票…当選

後期高齢者医療広域連合発足からまもなく2年になろうとしています。

同時に設置された広域連合議

会は、2月20日に定例議会を開会、まもなく議員の任期満了を迎えます。

このことにもない各市町村

3月議会で広域連合議員選挙がおこなわれています。

今回の改選では、定数が2倍になり44市町村議会から1名ずつ広域連合議員を選出することになりました。

東海村議会は、初日の2日に単記無記名投票で選挙を行いました。

また、これまでの日本共産党広域連合議員の中庭次男議員(水戸市)、佐藤文夫議員(かすみがうら市)から、東海村議長あてに、「議員団報告」が送られてきました。

鈴木昇議長は、「議員団報告」を全村議に配付しました。

3月議会 代表・一般質問項目

3月議会における代表質問は川崎篤子議員が、一般質問は大名美恵子議員がおこないました。

質問項目は、次のとおりです。

- 【代表質問】
- 1 雇用とくらしを守るとりくみ
- 2 後期高齢者医療制度の廃止を求めて
- 3 介護保険10年を迎えるにあたって
- 4 東海村障害者福祉計画第2期計画について
- 5 教育問題
- 6 白方小の跡地利用についての進捗状況
- 7 東海病院について
- 8 原子力問題
- 9 農業問題
- 【一般質問】
- 1 政治姿勢について
- 2 村民相談室の充実と雇用問題
- 3 白方小学校建設事業推進の体制補強について
- 4 公立幼稚園・保育所事業の充実について
- 5 那珂川沿岸農業水利事業について
- 6 原電東海第二高経年化対策について
- 7 消防救急搬送体制の充実について

白方小学校跡地利用について

ご意見をお聞かせください

白方小学校新築工事は、2009年12月竣工に向けてすすめられています。

「現在の白方小学校の跡地利用は、どうなるのでしょうか。」という問い合わせが、日本共産党村議団に寄せられています。

村では、「耐震調査を行って、その結果を見てから判断していきたい」と言っています。

みなさんは、どのように利用してほしいとお考えでしょうか。ぜひご意見をお聞かせ下さい。

よろしくお願い致します。

【ご意見】

※記入がすみましたら、お手数でも下記までご連絡ください。お伺いいたします。

川崎 篤子 電話・FAX (282) 0229
大名美恵子 電話・FAX (284) 0761